



ゲームを楽しむ子ども

心のふるさと

校長 石田 和義

本校では、子どもたちが心豊かに生き続けるために、一人ひとりが、それぞれの家庭や地域、学校でふれあいを深め、まわりの人、ものとのつながりを実感することを通して、“心のふるさと”をもってほしいと願っています。

11月1日に有成会主催による「堀小ふれあいフェスティバル」が開催されました。当日は雨が心配されましたが、幸い天候に恵まれ、有成会の皆様のご配慮とご協力のおかげで、子どもたちだけでなく、保護者、地域の方など多くの方々にご参加していただき、大盛況のうちに終了できました。有成会の皆様をはじめ「堀小ふれあいフェスティバル」の開催にあたりご尽力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

今年は、新たに“堀フェスDEハロウイン”、“メッセージツリー「ありがとうの木」”、“キッズフリーマーケット”、“堀川中学校吹奏楽部・富山市消防音楽隊による演奏会”、“特殊車両展示（警察、自衛隊、消防車両）”、“消防操法訓練”が開催され、子どもたちは、心から楽しむとともに、仲間、保護者、地域の皆様と一緒にふれあいを深めることができたように思います。以下、子どもたちの感想を紹介します。

「優しい友達と、ぶにぶに風船」

私は、堀フェスで工作の風船を選んで中に入ると、友達が作り方をいろいろと教えてくれました。私は優しい友達が大好き。だから、私は、これからも堀フェスで友達のように優しい人がたくさん増えてほしいと思ったよ。（2年生）

「フリーマーケットを振り返って」

お客様が来てくれるか心配だったけど、クラスの友達、他の学年の友達、地域の人もいっぱい買いに来てくれてうれしかったです。私は、来年のフリーマーケットにも挑戦したいです。（4年生）

「焼きそばを食べられてよかったです」

焼きそばは4年生の堀フェスの時から食べてみたところ、ソースの味が強く、麺も食べ応えがあって、おいしかったです。今年も食べました。昔と変わらない味です。もうあの味は忘れられなくなり、とてもよい思い出になりました。（6年生）



ご協力していただいた有成会の皆様

子どもたちは、「堀小ふれあいフェスティバル」を通して、多くの人とつながり合うことで、仲間、保護者、地域の人の温かさ、優しさに触れるとともに、その過程で“心のふるさと堀川”を実感することができたように思います。

今後も、子ども一人ひとりが、仲間、家庭、地域とのつながりを絶えず新しく生き生きとしたものにしていくことができるよう努めていきたいと考えます。

改めて有成会、地域の皆様には、「堀小ふれあいフェスティバル」の準備・運営に多大なご協力、ご支援をしていただき、深く感謝申し上げます。



フリーマーケットで買い物をする子ども



1 1月の行事予定

- 1日（土）堀小ふれあいフェスティバル
 2日（日）陸上全国大会 ちびっ子相撲
 3日（月）文化の日
 4日（火）集金振替日
 5日（水）小学校教育課程研究会（県東部）
 午後（給食なし）
 交通安全ポスター・標語授賞式
 6日（木）心臓検診（1年）
 6日（木）堀川チャレンジ活動
 10日（月）富山市チャレンジ陸上記録会
 教育相談①午後短縮
 11日（火）富山市科学博物館利用（4年）
 教育相談②午後短縮
 12日（水）自衛消防訓練
 13日（木）委員会活動
 14日（金）安全点検 教育相談③午後短縮
 なかよし1組 授業研究
 15日（土）資源回収③
 BFC火災予防研究発表会
 17日（月）富山市小教研13：30（短縮5限）
 18日（火）教育相談④午後短縮
 集団宿泊学習こどもの村（5年）
 【～19日（水）】
 20日（木）堀川チャレンジ活動
 21日（金）学習参観 親学び講座
 全国学力学習状況調査結果説明会（6年）
 23日（日）勤労感謝の日
 24日（月）振替休日
 25日（火）学習のたしかめ週間【～28日（金）】
 28日（金）5年1組 授業研究



12月の行事予定

- 1日（月）集金振替日
 2日（火）6年2組 授業研究
 ～6日（金）学習のまとめ週間
 4日（木）委員会活動
 5日（金）地域教育推進協議会 近隣ファミリー会
 第3回学校運営協議会
 9日（火）～12日（金）
 個別懇談会（希望制）
 15日（月）避難訓練 安全点検
 18日（木）堀川チャレンジ活動
 23日（火）給食最終日
 24日（水）第2学期終業式
 25日（木）冬季休業（1月7日（火）まで）
 26日（金）執務納め



※状況によっては、変更する場合もあります。

自分の目当てに向かってひたむきに取り組む

5年3組 山崎 加奈

5年生のどの団の子どもたちも、運動会に向けて「絶対に自分たちが優勝する！」という強い気持ちをもち、毎朝走るトレーニングに励んだり、仲間と騎馬戦の作戦を考えて練習したりするなど、自分の団の優勝を目指して努力を重ねてきました。

運動会本番まであと数日となり、子どもたちの気持ちも更に高まってきた頃、くらしの時間の中で、子どもたちと一緒に私自身も、ふと考えさせられる場面がありました。

教育実習生が運動会の応援に来てくれることを知ったAさんは、「私は教生先生のために絶対に優勝したい。きっと喜んでくれるよ」と話しました。Aさんの話を聞いたBさんは首をかしげながら、「Aさんは教生先生が来てくれるから頑張るの？私は、応援に来られなくても今まで努力してきた自分の力を出し切るために、本気で取り組みたいよ」と続きました。それに対してAさんは、「だって、私たちの応援をするためにわざわざ来てくれるのだから。教生先生は優勝したところを見たいでしょ」と笑顔で答えました。日頃から仲間が楽しくくらせることを願うAさんらしい発言でした。そのような中、Cさんが挙手しました。そして「どちらの気持ちも分かる。でも、今年は6年生にとって最後の運動会でしょ。だから私は毎日トレーニングをして、6年生の頑張りを無駄にせず、青団の優勝に貢献したい」と仲間に語りかけました。

運動会は誰のためのものだろうか。どうして毎日頑張っている自分のだろうか。そんな疑問が子どもたちの頭の中に浮かび、一人ひとりが自分の思いを確かめているようでした。「優勝したい」という共通の思いをもつ三人ですが、優勝に向けての思いやこれまでの歩みは一人ひとり異なります。子どもたちの話をじっくりと聞き考える中で、「運動会の主役は自分自身」「勝つために練習する」と、これまでどこか一括りに捉えてしまっていた自分が恥ずかしくなりました。子どもたち一人ひとりが勝ちにこだわる理由をそれぞれにもっていることが、一人ひとりの気付きに表れていました。

運動会本番。Aさんは青団の雰囲気を盛り上げるために、笑顔で大きな声を出して応援していました。毎日欠かさずトレーニングに励んだBさんは、競技の直前まで下学年とリレーのバトンパスの確認をしていました。6年生を大事にするCさんは、1年生から4年生に向けて「6年生の徒競走だよ！最後だよ！みんな、本気で声を出すよ！」と、声を枯らしながら何度も呼びかけていました。優勝を目指す中で、自分にとっての運動会の意味を再確認し、目当てに向かってひたむきに取り組む子どもたちでした。

運動会を終え、Cさんの日記には、「私はもっと周りを見る力を高めたい。口だけではなくて、普段のくらしから行動で示す。そして来年度の運動会では、下学年をまとめる力を付けて、この仲間と絶対に優勝をつかみ取ります」と書かっていました。運動会を通して、くらしの中の目当てを確かにした子どもたちを、一人ひとり大切に支えていくと同時に、子どもの中に芽生える意志をしっかりと理解して、共に励んでいきたいです。



【自分の力を発揮する子ども】